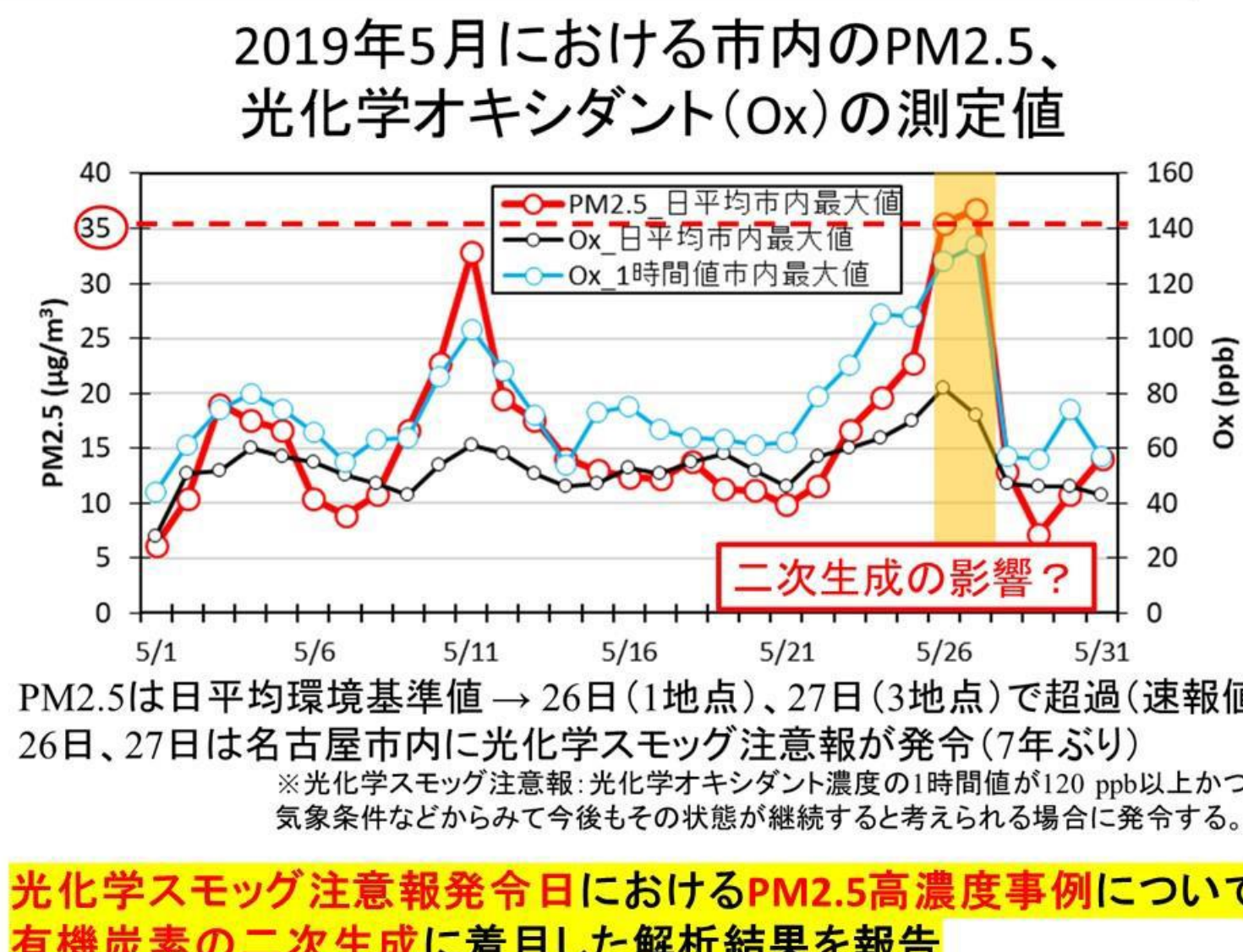
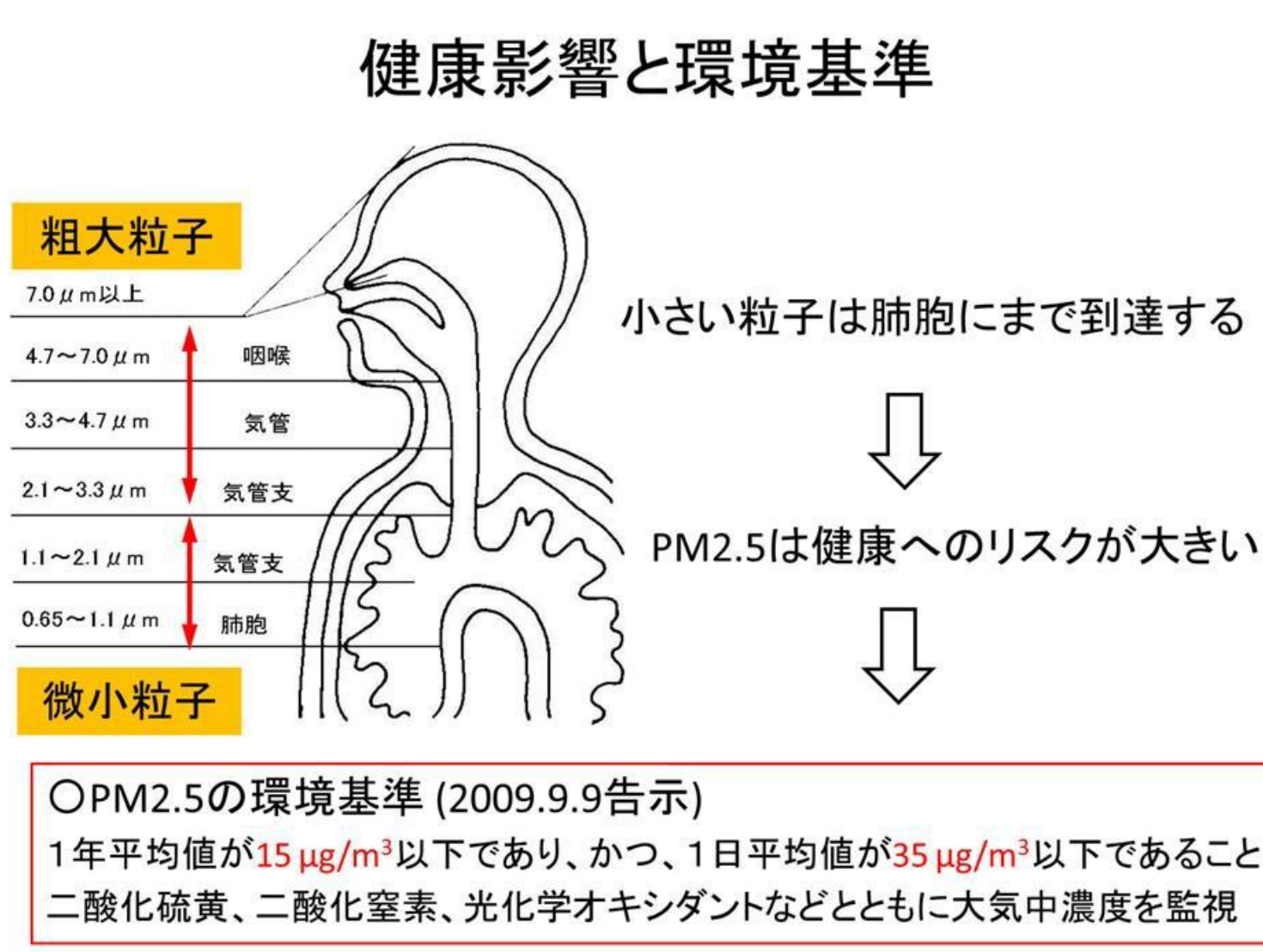
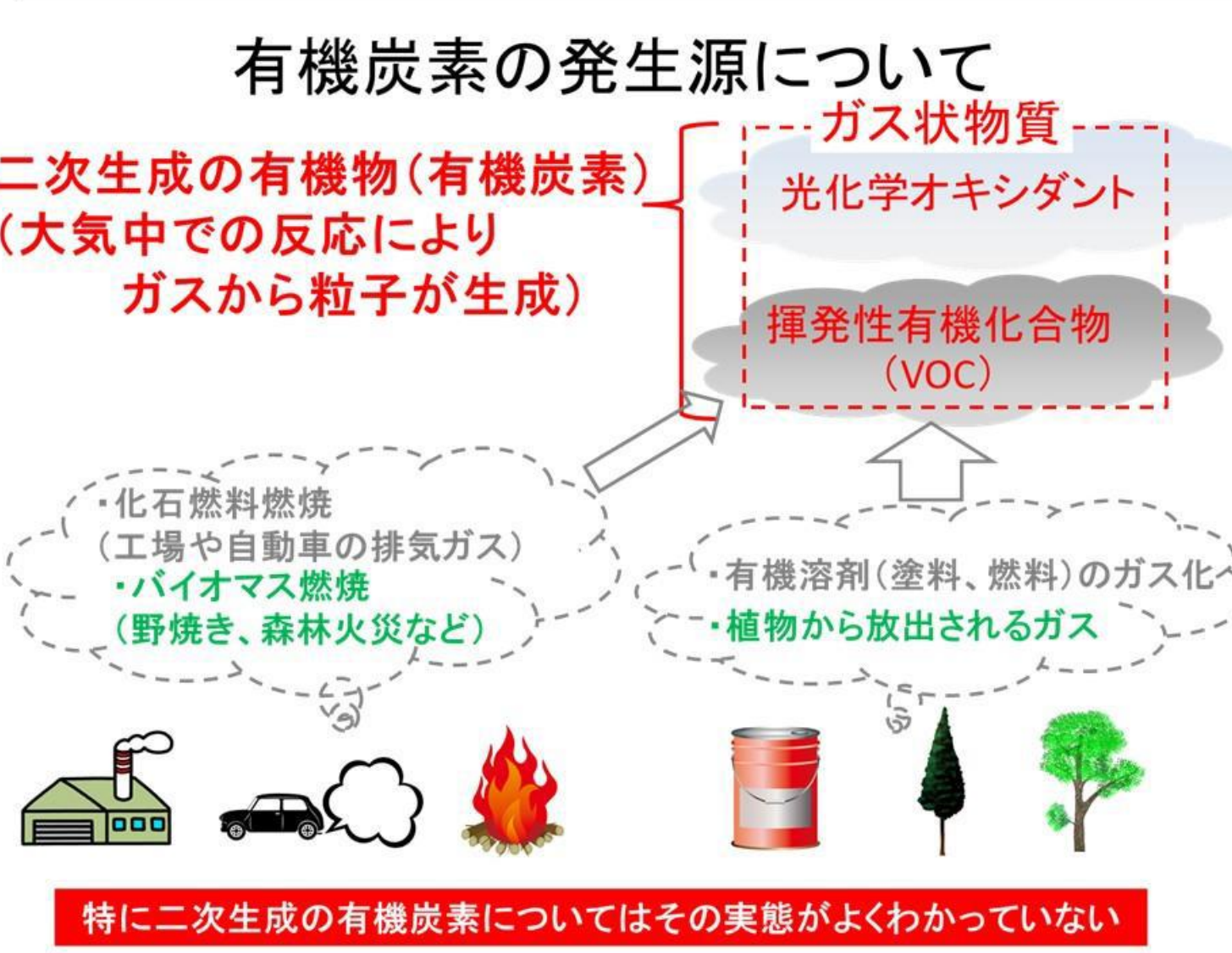
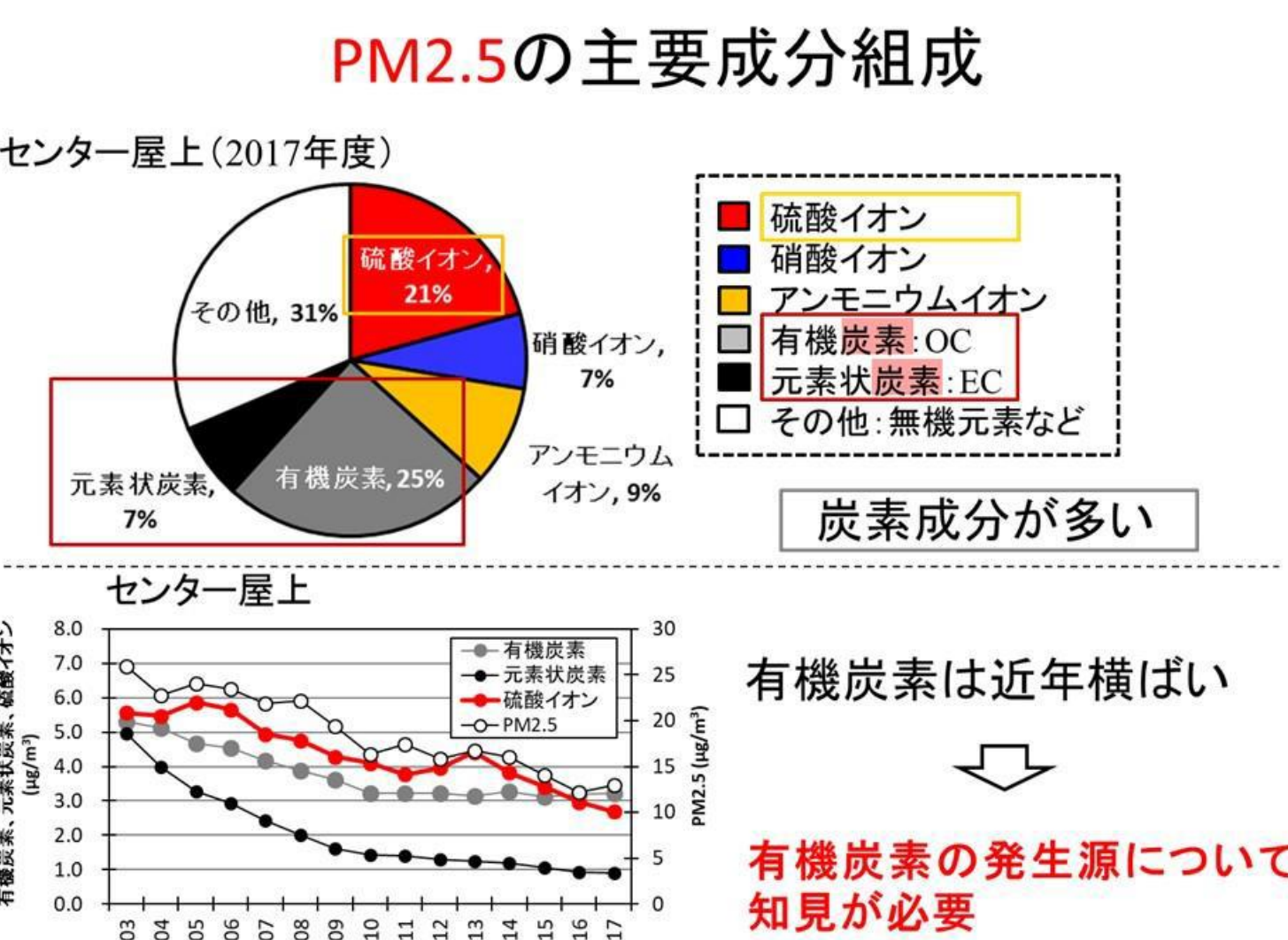
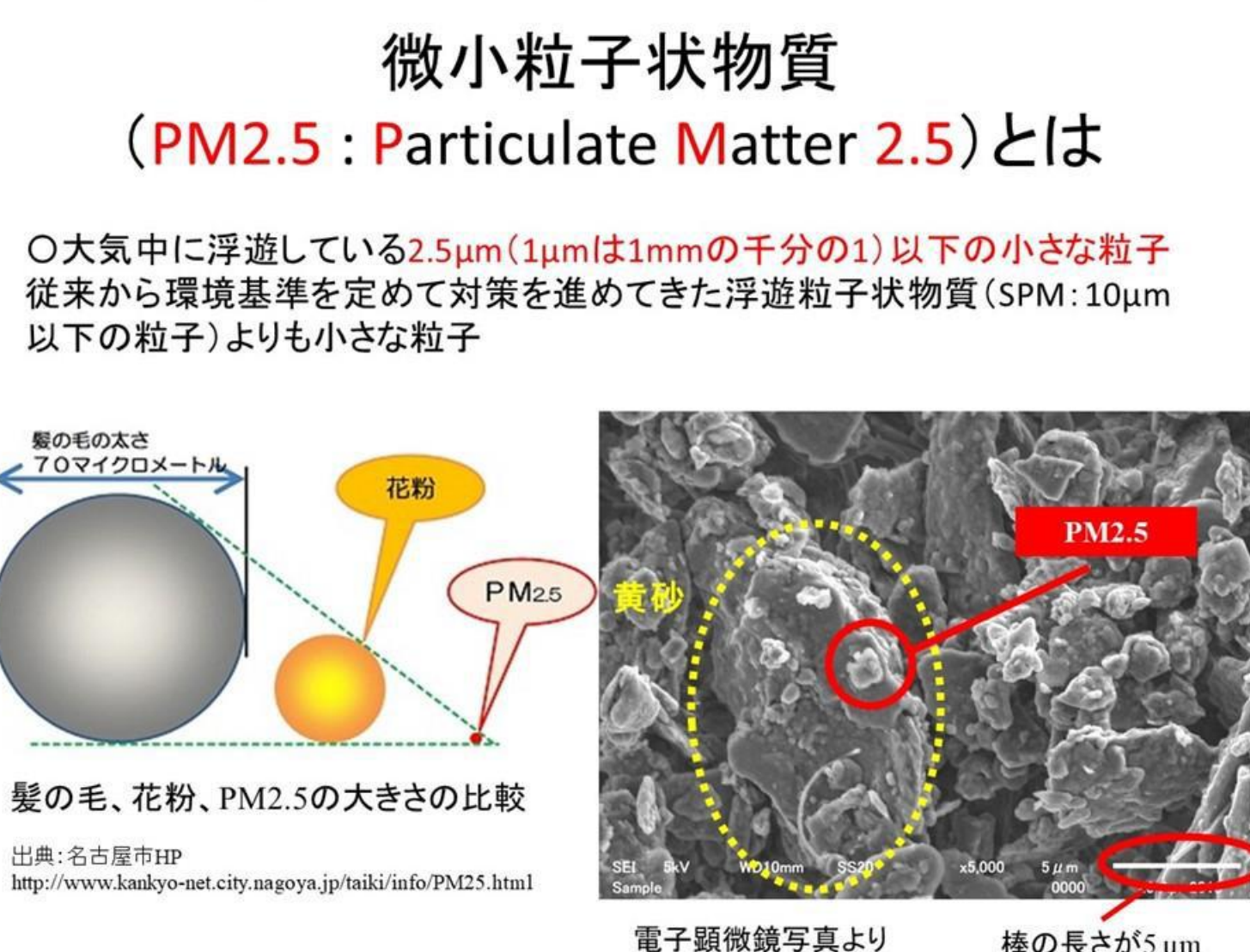


# 光化学スモッグ注意報発令日におけるPM2.5高濃度現象の解析

環境科学室 池盛文数

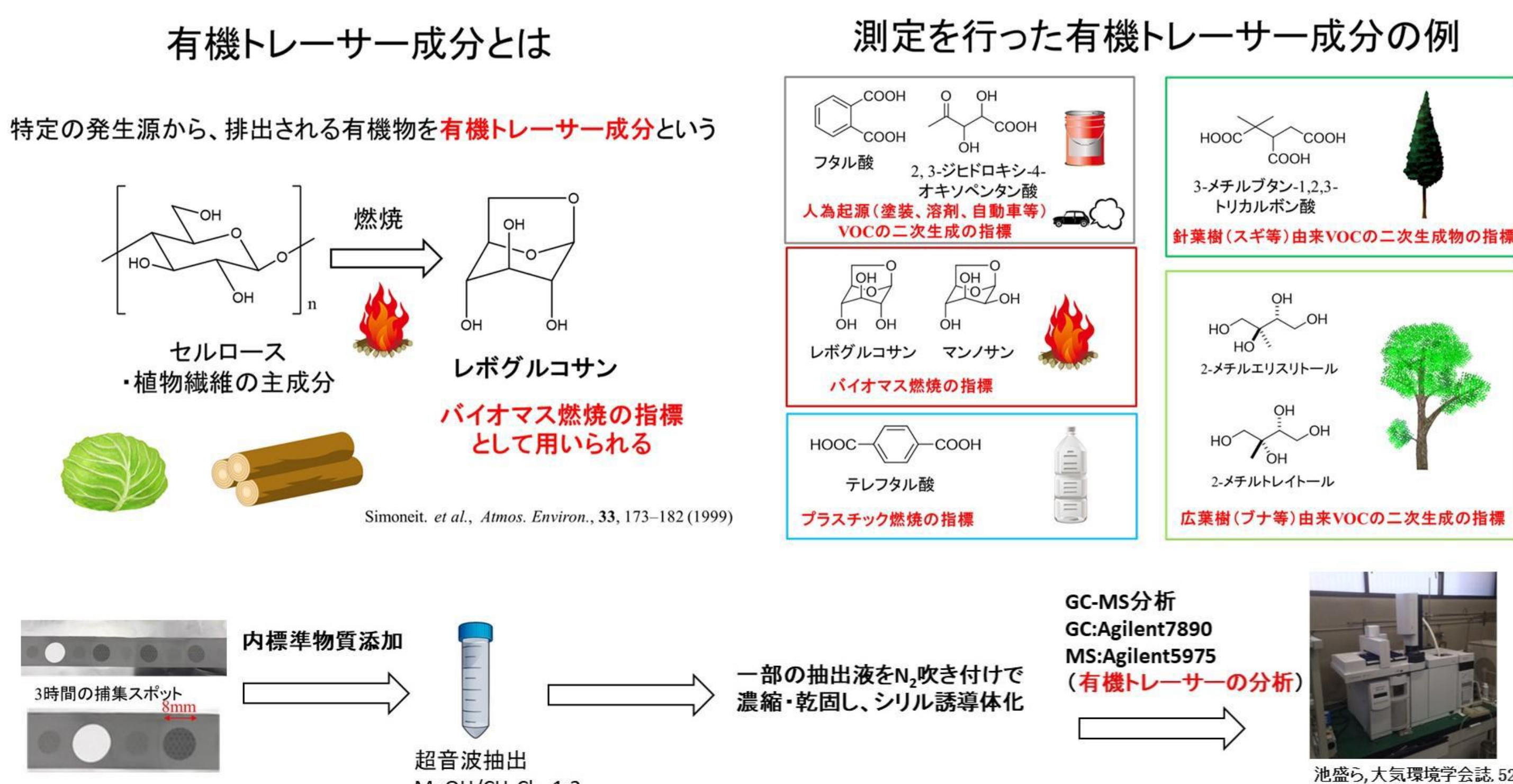
## はじめに



## 実験方法



## 成分測定



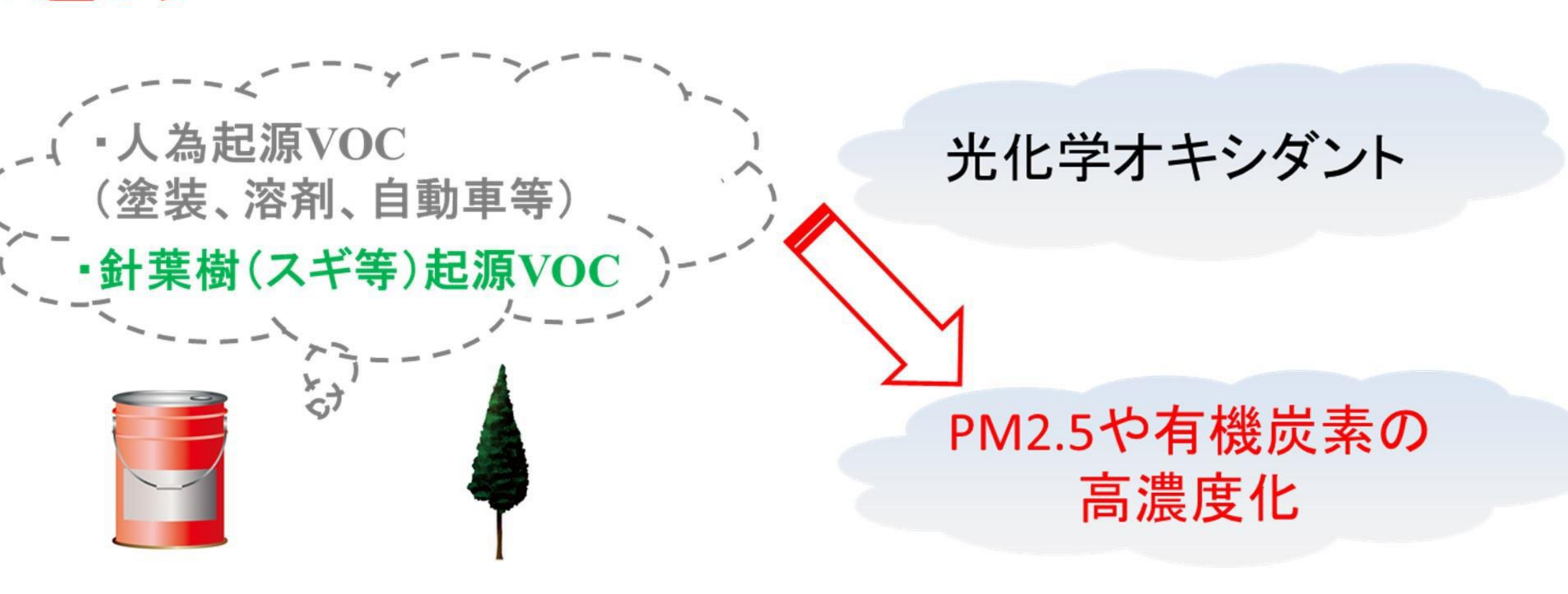
## まとめ

○2019年5月26、27日は光化学スモッグ注意報(名古屋では7年ぶり)が発令され、PM2.5一日平均の環境基準値を超過した。

○この期間、有機炭素とPM2.5の変動は一致しており、日中に高濃度であったことから大気中二次生成の影響が考えられた。

○人為起源VOC(塗装、溶剤、自動車等)および針葉樹起源VOC(スギ等)の二次生成の有機トレーサーがPM2.5や有機炭素の変動と一致し、日中に高濃度を示した。

○人為起源や針葉樹起源VOCの二次粒子が、PM2.5や有機炭素の高濃度化に寄与したと考えられる。



## 結果

